

Prime Mover ENGINEERING

東海大学機友会々報

萩 三二先生筆



15号

東海大学機友会事務局

湘南校舎 動力機械工学科事務室

〒259-12 神奈川県平塚市北金目1117

☎ 0463-58-1211 内4321 FAX 0463-59-8293

発行人 河西正彦

印刷 信友印刷株式会社 ☎ 03-3444-2481(代)



…懇談会開催

萩三二新理事を囲んで

思い出をかたる萩先生

自身の熱力学関係の
研究はもとより教育
者として熱心に学生
を指導しつつ、各研
究室の充実を計られ
ました。どんな小さ
なサークル活動にも
万障繰り合わせて、
ご参加を下さり卒業
生の就職の相談、結
婚のお仲人も数多く
は多方面、大勢の方々をお世話してこ
られました。大変親しみ易く意見を
よくお聞き下さり適切なアドバイス
を頂き人生針路を決めた卒業生は大
勢います。ご節制の賜物でしようか、
健康に恵まれ、陽焼けしたお顔には
疲れも見せず、大任を果たされてお
ります。正に東海大学の理念をその
まま実行された恩師であります。

(一)事業内容はますます充実して皆ん
なの努力が充実してきたので嬉しい。
(二)これからも会員同志の情報交換が
いつも簡単に行なえることを念頭
において活動して欲しい。

廿日代々木校舎四四〇八教室で開催
しました。

本会から、会長・副会長・会理事の
計十二名が参加し、元会長の小林隆
氏の出席もあり、昔話に花がさいたら
りでもあります。萩先生のご経歴は
ご存知の通りですが、戦中戦後の混
乱の最中大学生活を経て故松前重義
前総長から頼嘱され、また本学の建
学の精神に共鳴され本学に入られ
りでもあります。萩先生のご経歴は

機械工学の教授として、私達機友
会会員の誰もが一度は教室でお世話
になった機友会名誉会長萩三二先生
(現短期大学部学長) 平成六年六
月に本学理事にご就任されました。
萩三二先生は、短期大学部学長
へご栄転され更に本学理事ご就任
は、私達一人ひとりの喜びであり誇
りでもあります。

萩先生のご経歴は
機友会は萩三二名誉会長の本学理
事ご就任を期に、先生の学園に対す
るお考え機友会に寄せる抱負を今一
度お尋ねすべく、「萩先生を囲んで」
として懇談会を企画、平成六年八月



参加役員とのスナップ



水と空気と環境の明日を考える…

荏原グループ

荏原製作所・荏原サービス・荏原プラント建設・マツボー
荏原環境エンジニアリング・荏原エンジニアリングサービス
大岩機器工業所・荏原電産・荏原金剛他

(三)他学科同窓会との交流を深めて欲しい。

との要望を示されました。また本学については、新総長の下で新しい時代に向かつて力強く前進していることをいくつかの事例を出しご説明下さい、世界に開かれた大学の建設に微力ながら邁進していかれる旨、決意を語られました。



懇談会は一時間で修了しこの後駅近くの料亭(代々木八幡駅前の百万石)で懇親会へと場所を移しその席で、機友会員から花束と記念品が贈呈されました。

萩三一(はぎ・さんいち)理事 経歴

機友會會長
河西正彥



出席者

一九二六年東京生まれ。四六年東海大学科学専門学校卒業。六年東京大学より工学博士の学位を授与。六三年東海大学工学部教授。以後、東海大学評議員、同大学工学部長・第三工学部長、~~同~~大学大学院工学研究科委員長、同大学副学長等を歴任、現東

萩 三二一機友会名誉会長（東海大）

小林 隆顧問（一九六四年度卒、
富士通株）

河西正彦会長（六六年度卒、イ・
スタン技研株）

伊藤和義総務部担当副会長（六）

年度卒 東芝外語会員（株）
岡田隆夫財務部担当副会長（六

年度卒、高砂鉄工(株)

年度卒、(株)荏原製作所

山本秀隆 広報部担当副会長（六）

大島守之機友会理事（六四年度）
自當

松林 孝総務部長（七六年度卒
東京工業高等学校）

和やかな懇談会のスナップ

今日、政治・経済・社会も大きく新しい秩序に向かって動いてきています。会員の皆様が確実に最良のポイントにソフトランディングされるとを祈念せざるを得ません。改題 機友会もこの大波を受け、とりわけ調整がつくよくなつてまいりまつた。無報酬での献身的努力に本当に頭の下がる思いです。学科からも唐井義明副工学部長兼主任教授をはじめ教職員各位から会活動に対しても助力を頂いていることも厳しく環境下、有難く感じております。

A black and white portrait of a man with glasses and dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. The portrait is set within a circular frame that contains dense Japanese text, likely a speech or commemorative message.

会員の皆様もどうか会の健全発展に今迄にも増してご協力下さいます。よう切にお願い申し上げます。

機友会懇親パーティがあります。是非ご参加下さい。教職員、同窓生、役員の人達と歓談され、機友会の発展している様子を一覽下さる。

最後に会員の皆様方の輪がますます広がることを期待しましてご挨拶とします。

東芝特約店(金属・新素材) 金属材料・新素材・金属CVD装置・半導体用ガス・各種設備(設計・施工)の専門商社



ウェキコーポレーション

《旧社名：ウエキガス科学(株)》

本社〒146東京都大田区久が原5丁目33番10号
TEL(03)3753-2211 FAX(03)3753-7117
支店:北日本・北関東・相模原
事業所:泉・姫路・北九州・大分
営業所:埼玉・横浜・大阪
出張所:浜松・名古屋

本社勤務 水口直(S47年修士卒)
本社勤務 日向野保雄(S52年卒)
本社勤務 奥山俊英(S54年卒)
本社勤務 七澤浩史(H6年卒)

学科だより

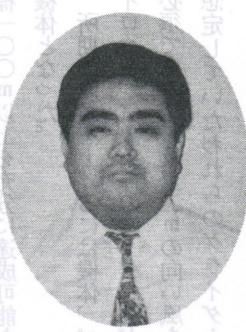
新任の先生紹介



スペ西時間レースでも日本車として初優勝を果たすことができました。これらの経験を教育の場に活かし、創造性豊かでチャレンジングな学生を輩出させたいと張り切っています。

略歴

学科を卒業と同時に日産自動車(株)に入社。研究開発畑を歩み、本年二月にスポーツ車両開発センター部長を最後に退職。工学博士。



一九九四年度 学科修習会開催される

一九八八年東海大学工学部工業化研究科卒業。九三年三月同大学院工学研究科金属材料工学専攻博士課程修了、博士（工学）。同年四月セイコー電子工業に入社、技術本部基礎技術研究室勤務。九四年四月より東海大学工学部動力機械工学科助手。

二工学部機械工学科の教職員研修会が九月十二日～十三日、富士研修センターにおいて開催された。研修会の第一日目は三人の先生方による講話が開かれた。まず、林義正先生には、「究極の乗用車『レー シングカー』」の開発」というテーマで講話をいただいた。林先生は本学に見える直前まで日産自動車においてレーシングカーの開発部長を勤め、数多くの実績を挙げておられるので、実感のこもった興味深い講話であった。次に、淺香先生は「真偽を見分ける分析の話」というテーマで、物質の詳細な分析法について講話をいただいた。淺香先生は工業化外の方に対する貴重な講話であった。また、就職担当の小野寺弘先生には、「動力機械工学科の就職問題について」というテーマで、昨今の厳しい就職戦線をいかに乗り越えるかについての講話をいただいた。これは現在深刻な問題であり、莫大な資料に基づき、問題と対策について熱心な説明と提案がなされた。

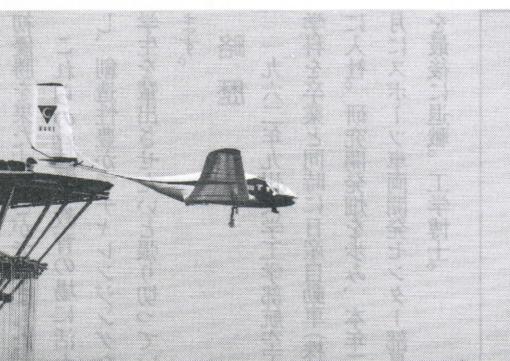
産業用遠心分離機のトップメーカー——

巴工業株式会社
TOMOE ENGINEERING CO., LTD.

幸尾教授勲三等を叙勲



平成六年度春の叙勲において、幸尾教授が勲三等瑞宝章を受章されました。受章は長年の研究・教育活動に対する多大な功績が認められた結果であり、ここに幸尾教授の足跡を簡単に紹介させて頂きます。



発進!!

幸尾治朗（こうお・じろう） 昭和二年九州帝国大学工学部工業力学科卒業。同年川南工業香焼島造船所入社。二五年運輸省運輸技術研究所に入所。三六年米国プリンストン大学工学部航空工学科助手。三八年科学技術庁航空宇宙技術研究所へ出向。四八年同研究所飛行実験部長。五四年「航空機の乗り心地」で東京大学より工学博士の学位を授与。五七年航空宇宙技術研究所STOLプロジェクト推進本部長。六〇年同研究所退官。同年東海大学教授。この間、日本航空宇宙学会理事や運輸省航空事故調査委員会委員として、奈川大学、東京農工大学、九州大学の講師等を歴任されました。

湖畔（彦根市）で行われ、我々に取っては昨年の初参加（五二m九〇で滑空機部門三機中一六位）につづいて二回目のトライであった。新翼型の採用とコックピット回りの整形、主翼桁構造の改修、脚引込装置の改良、操縦系統の機能アップ等々、多くの新機軸を組込んだわれらのTK-5-I型グライダーは今年度目標一〇〇m以上を充分に達成可能な機体となつた。

所期の成績を上げるには機体、パイロット、気象条件のマッチングが必須である。一及至二mの向い風を想定していたわれらのグライダー

K-5-I型は今年度目標一〇〇m以上を達成した。滑空距離七二m七六、滑空機部門三六機中一位の成績を上げてわかれらの夏は終つた。「来年は一〇〇m、再来年はその倍の二〇〇m、そして入賞圏へ……」われらの純手造りグライダーは早くも次の構想をねり始めている。

【追記】

所期の目標には及ばなかつたが、昨年の記録を距離で約二〇m、順位で五位上げる事が出来た。関係の皆様方の御支援に深く感謝したい。

TK-5-I型の出走時、左翼のサポーターとして出場した卒研生の加藤泰山君が、八月、北海道、霧多布（きりたっぷ）で事故死されました。同君が持前の明るさで本卒業研究の推進に多大の寄与をされたことを記すと共に御冥福を心から祈ります。

幸尾教授（工・機械）

鳥人間コンテスト奮闘

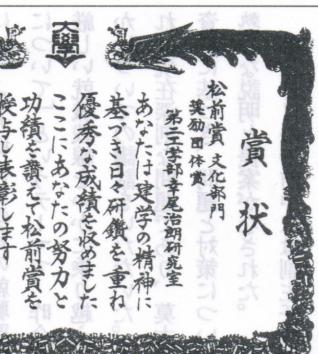
一九九四年七月三十日、第一八回鳥人間コンテスト選手権大会が琵琶湖畔（彦根市）で行われ、我々に取っては昨年の初参加（五二m九〇で滑

空機部門三機中一六位）につづいて二回目のトライであった。新翼型の採用とコックピット回りの整形、主翼桁構造の改修、脚引込装置の改良、操縦系統の機能アップ等々、多くの新機軸を組込んだわれらのTK-5-I型の姿が再び浮き上がった。滑空距離七二m七六、滑空機部門三六機中一位の成績を上げてわかれらの夏は終つた。「来年は一〇〇m、再来年はその倍の二〇〇m、そして入賞圏へ……」われらの純手造りグライダーは早くも次の構想をねり始めている。

幸尾研究室が松前賞を受賞

は、出走順番（くじ引きによる）に

より無風状態で発進せざるを得なかつた。パイロットはA君、左翼のサポーターはK、T君、右翼はY君、尾部はK、Y君、気の合つたメンバーである。出走!! 台上で見守る視界の中で機体がスリットと消えた。琵琶湖面突入かと腰を浮かした瞬間、TK-5-I型の姿が再び浮き上がった。滑空距離七二m七六、滑空機部門三六機中一位の成績を上げてわかれらの夏は終つた。「来年は一〇〇m、再来年はその倍の二〇〇m、そして入賞圏へ……」われらの純手造りグライダーは早くも次の構想をねり始めている。



松前賞
文化部門
第三季部 幸尾研究室
あなたは建学の精神に基づき日々研鑽を重ね
優秀な成績を収めました
ここにあなたの努力と
功績を讃え松前賞を
授与し表彰します

九九四年一月二十六日

監査 東海大学

監査
松前達也

所期の目標には及ばなかつたが、昨年の記録を距離で約二〇m、順位で五位上げる事が出来た。関係の皆様方の御支援に深く感謝したい。

TK-5-I型の出走時、左翼のサポーターとして出場した卒研生の加藤泰山君が、八月、北海道、霧多布（きりたっぷ）で事故死されました。同君が持前の明るさで本卒業研究の推進に多大の寄与をされたことを記すと共に御冥福を心から祈ります。

幸尾教授（工・機械）

荏原サービスは、ポンプ業界最大手の荏原製作所グループの一員として「水と空気と環境」をテーマに「世界の人々の豊かな将来のために最上の技術とサービスで広く社会に貢献する」ことを企業理念としている会社です。



感動を与えるテクニカルサービスを開発しています。
お客様に

荏原 EBARA

荏原サービス株式会社

それは、荏原サービス株式会社です。

〒144 東京都大田区羽田旭町13-3 ☎03-3743-7311(代)

卒業生 柳川雅春(S45) 小野寺道(S45) 小杉伸一(S51) 柴田慎(S51) 田中睦子(S53) 鈴木浩司(S59)
中村勝彦(S62) 永田剛(H5) 平野俊次(H5) 菊地一彦(H5) 菊川直(H5)

本社：東京都大田区羽田田
資本金：4億5千万円
従業員：910名
年商：247億円
(平成4年度実績)